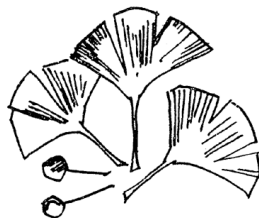


農業



平成26年11月号
会誌 No. 1591

目次

巻頭言

大日本農会草創期の人びと……………友田 清彦 3

論 壇

食料・農業・農村政策の枠組みを振り返る……………中嶋 康博 4

地域セミナー

近未来の食と農を考える……………生源寺眞一 6

－日本の持ち味をどう活かすか－

講演…………… 6

質疑・意見交換…………… 27

表彰農家訪問

水稻・農家民宿・どぶろく製造で豪雪地周年就労を確立……………平岩 進 33

－新潟県上越市に佐藤健一さんを訪ねて－

研究の最前線

食料自給率向上を目指した大豆の新品種開発の動向……………羽鹿 牧太 42

農業・農村の現場から

農村における若手女子力とは……………山口 由美 53
- 農家に嫁ぎ、梅園経営 -

世界の農業は今

雲南省昆明における過度な集約農業……………稲村 達也 58
李 昆志
王 嬴

農政情報…………… 64
平成26年度（第53回）農林水産祭天皇杯等受賞者…………… 65
大日本農会だより…………… 66

表紙写真説明

長ネギと海（千葉県山武市蓮沼）

千葉県山武市は、東側が九十九里浜で雄大な太平洋に面し、西は内陸に広がっている。海沿いの地域は平坦な砂質土壌で、潮風の影響を受ける不利な条件に有り、適した作物は限られてくる。そうした中で、所々に長ネギ畑を見かけることができる。長ネギは野菜の中で比較的塩害に強いと言われ、この地域では積極的に海水をかけて商品化をしているグループまである。写真は、長ネギの白い部分を長くするため、中耕培土（土寄せ）作業を行っているところ。11月中にもう一度行った後に収穫・出荷するという。平成25年産の統計（秋冬野菜）によると、千葉県の長ネギ（秋冬ねぎ）の収穫量は埼玉県に次いで全国第2位である。

（写真／説明：編集部）